



「闇夜に浮かぶ・光のじゅうたん」イルミネーションのような電照菊

*その利用範囲が全国的なもので、農林水産大臣が指定した漁港

NIPPON-ICHI 糸満市これがイチバン

NO.1 小菊の生産量日本一を支えています



出荷の時期が近づき、つぼみが膨らみ始めた小菊たち

近年は西崎の工業団地をはじめ、潮崎町の商業施設の新設などでも賑わいを見せる糸満市。今後は市を支える農水商工の連携による事業や商品開発とともに、沿岸環境の保全などの課題に取り組み、さらなる漁業の振興を目指す水産業に期待が高まっています。

糸満市の小菊の生産量は、約4,300万本(平成24年度調べ)で県内一を誇り、小菊の生産量日本一の沖縄を大きく支えています。生産時期は他の産地の出荷が減少する11月頃から5月頃までで、正月用に本土向けに出荷される様子は年末のローカルニュースなどでもお

いて、レタス、パッショングルーツ、小菊なども拠点産地に認定。自然の恵み多き地としてその名を響かせています。



糸満特産の美らキャロットやアセロラ、塩を使った「沖縄かりんとう」。甘さ控えめで、心地よい食感が人気。3種セット、個別でも販売。



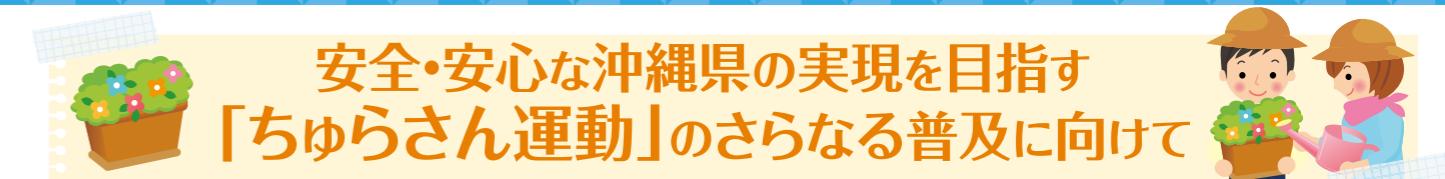
皮には人参ペーストを練り込み、具には千切り人参と野菜がたっぷりの「美らキャロット入り萬能だれ」。肉料理や温野菜など、さまざまな料理にぴったり。

商品のお問い合わせは 道の駅いとまん 糸満市物産センター「遊食来」 ☎098-992-1030

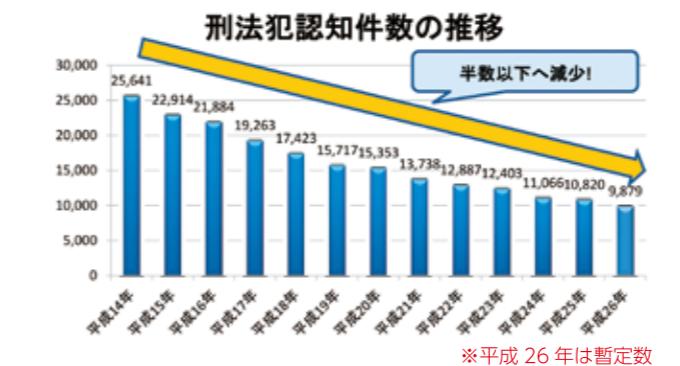
わんがイチバン!
ムラ白慢
シマ白慢
シリーズ連載 10
糸満市
ITOMAN

農水商工のバランスがとれたつながりの豊かなまち

沖縄本島最南端に位置する糸満市。古くから漁業が盛んで、県内唯一の第3種漁港(*)を有する海人のまち。旧暦の5月に豊漁を祈願して行われる爬龍船競漕・糸満ハーレーは、漁師町ならではの伝統ある名物イベントで、舞台となる漁港では海の男たちの熱い闘いが繰り広げられ、町中が賑わいます。一方、農業も盛んで県内の生産量を誇る人参は、「美らキャロット」と名付けられブランド化が図られているほか、ゴーヤー、レタス、パッショングルーツ、小菊なども拠点産地に認定。自然の恵み多き地としてその名を



安全・安心な沖縄県の実現を目指す「ちゅうさん運動」のさらなる普及に向けて



条例の制定当時は、県内の刑法犯認知件数が平成14年に2万5千件を超えて5年連続で過去最高の記録を更新するなど、県内の治安情勢は憂慮すべき状況でした。このような状況の中でスタートした「ちゅうさん運動」により、県民、事業者、県による様々な取組がされてきました。

1 「ちゅうさん運動」とは

平成26年の刑法犯認知件数は約9千8百件で、条例制定当時と比べると半数以下、復帰後最小にまで減少しています。

県警察の取組はもちろん、犯罪発生を未然に防ぐ県民一人ひとりの様々な取組(ちゅうさん運動)が地域に浸透しつつあります。

言動等の重大事件に発展しかねない前兆事案は増加傾向にあります。

年度から、「子ども・女性等安全見守り事業(フラワーポット事業)」をスタートしました。小学校区の通学・通勤路に草花のプランターを置き、PTAや下校を見守るモデル事業として県内各地で実施しています。

また、運動が始まつて以降、「地域の安全は地域で守る」という気運が高まり、現在740を超える自主防犯ボランティア団体が結成され、在住2万5千人を超える県民の皆さんが地域や職場の防犯ボランティア活動に積極的に参加しています。

刑法犯認知件数全体が減少する一方で、子供や女性を狙った性犯罪やつきまとい、卑わいな

刑罰をつくるため、犯罪が起こらないようにする」ことが重要であるとの考え方から、青少年を中心とした環境を整備する「ちゅうらまちづくり」運動、防犯に配慮した活動を支援する「ちゅうらまちづくり」運動、そして地域の活動を抑止するため地域の活動を支援する「ちゅうらまちづくり」運動、この3つの運動を総称したのが「ちゅうさん運動」です。



沖縄市室川自治会



フラワーポット贈呈式(沖縄市中の町自治会)



フラワーポット事業(宮古島市鏡原PTA)

お問い合わせ 県県民生活課 電話: 098-866-2187 FAX: 098-866-2789

このように、「ちゅうさん運動」は、できる人ができるといひで、できる時に気軽に参加できる活動です。今後も、さらに多くの県民の皆さんに参加してもらいたい、県民だけでなく観光客にどうともあります安全・安心な沖縄県となるよう運動をさらに発展させていきます。